



長野市男女共同参画情報誌「With You」は、男女共同参画社会づくりに向け、年に3回、市民編集委員が様々な視点から情報を発信しています。今回は、これから女性の活躍がますます求められる分野で、パイオニアとして新たなステージを目指す女性を紹介します。

夢を持っていれば、進むレールはつながってゆく

県内では女性で初めて、長野県消防学校救助科での研修を修了した古畑匡希さん。現在消防士として勤務している、長野市消防局中央消防署でお話を聞きました。



古畑 匡希 (ふるはた まさき) さん

平成28(2016)年 長野市消防局局東部分署で1年間、安茂里分署で2年間勤務し、現在、中央消防署での勤務2年目。

仲間に支えられてできることが増える日々

消防学校救助科での研修は、「20日間だから乗り切れた、だけれどもこれ以上は1日もやれない」というのが率直なところ。県内各地域から様々な年齢・経験年数の30名が集まった中で、自分の知識不足と技術の未熟さを痛感しました。でも大変だからこそ、すごく楽しかった。自分ではここまで思っていたことが、技術面でも気持ちの面でも周囲の人達

子どもの頃に見た「かっこいい」姿が忘れられず

に支えられて、一つひとつできるようになっていく。この実感が楽しかったです。将来救助隊員に任命されて、現場で訓練を活かすことになったら、救助を待つ人の不安な気持ちに寄り添う「安心を与えられる隊員」になりたいと思っています。

消防士という仕事を最初に意識したのは、妹が救急車で病院へ運ばれた時でした。私が6歳になるかならないか位の時、当時一歳だった妹の具合が急に悪くなって。救急搬送の際、慌てている家族へ冷静に適切に対応してくれる姿に、「かっこいい」と思ったことを覚えています。妹は1カ月程入院し回復しましたが、その時の印象は強く、小学校の卒業アルバムに「救急救

命士になりたい」と書きました。

その後、救急医や体育の先生もいいなと思いましたが、自身の適性を考え、高校卒業時に消防の採用試験を受験しました。その時は不採用。救急救命士の専門学校への進学も並行して準備していたので、進学して3年間勉強し国家資格を取得。採用試験に再挑戦し、入局となりました。

現在、私は主に救急業務に従事しています。この仕事でよかったと思うのは、やはり感謝の言葉をいただく時です。「元氣になりました」など手紙が届くこともあり、嬉しいです。

救助技術を競う全国大会へチームで出場

救助隊の仕事には、入局した時から興味がありました。でも厳しい仕事だとわかっていましたし、女性にはムリなんじゃないかと思ひ込みがあり、なかなか声に出して言えませんでした。そんな時、毎年行われる消防救助技術大会へ参加してみないかと同僚から声をかけてもらいました。2019年8月に岡山市で行われた全国大会へ「ロープブリッジ救出」という連携訓練種目に4人チームのひとりとして出場しました。対岸に張られたロープを渡って、要救助

者を安全に吊り下げてけん引し救出する種目です。一緒に出場したチームの3人がすごい人達で、上位のタイムを収めることができませんでした。

この経験は大きかったです。「かっこいい」、「私もオレンジ色の救助服を着たい」という思いが強くなりました。

上司からの言葉が原動力「失敗を恐れるな」

職場の人達は皆、常に先回りして考えて行動することが自然にできていて、その「気づき」には驚かされます。周りが「できる人達」だと、私は一歩引いてしまうところがあって、これは良くないなと思っていました。

ある時、上司から「失敗を恐れてやらないより、失敗してもやったほうが、成長につながる」と言われました。何も手を付けないままだと、それ以上の成長はない、と。実際にやってみてはじめて自分のものになる、失敗してもムダじゃないと思う気持ちがあるからできる、という



のがありますね。

今後の キャリアデザインは

救助科の研修に派遣していただいたので、今後救助隊員として経験を積みみたいという気持ちももちろんあります。そう思いつつ、これから結婚して、子どもを産んで育てたいという気持ちもあります。正直、迷います。

救助隊員となると、当直勤務や災害時など、求められるものはさらに厳しくなると思いますし、現在女性で両立している人が身近にいない状況なので…。

体を動かすことが好き 一番のリフレッシュ

入局する前は、一日中緊張感でピリピリした雰囲気職場かと思っていました。実際は、出動や訓練の際は瞬時にスイッチ

が入って当然緊張感がありますが、周りの人達は皆、生活の中でオン・オフを上手に切り替えています。私はどうですかね、できているかな…5年目ですけど、まだ緊張しているかもしれないです。

時間を見つけては「筋トレ」しています。筋力・体力の男女差はやはり感じますので、トレーニングしないと置いていかれてしまいます。体を動かすことは好きなので、リフレッシュにもなっています。走るのが日課で、家の周りを5〜8km、30〜60分程走ります。

小学校1年生からずっと剣道をやっていました。2019年9月に、目標だった全日本女子剣道選手権大会に出場しました。目標達成したので一区切りつけて、今剣道は少し休んでいます。リラクセスできるのは、家族



低所からの救出訓練

ある日の 古畑さんのスケジュール

- 8:30 交替制勤務で、出勤が8:30の場合は、翌朝8:30の交替まで。出勤の他にも、出勤後の報告書作成等、事務処理も大切な仕事です。現場を想定した訓練も定期的に行います。
- 12:00 出動要請と重ならなければ、昼食休憩1時間。
- 17:15 若手署員の当番3〜5人で、13人分の夕食を作ります。
- 20:30 車両の点検作業も欠かせません。
- 22:00 自主的な筋力トレーニング等して、仮眠を取ります。
- 5:00 起床。署内の清掃、車両点検を行います。
- 8:30 交替後、帰宅します。

挑戦する人たちへ あきらめなければ ルールはできる

私がこうやって良いのかわからないですけど、夢や目標を



救急救命士は搬送中に医師の指示の下、救命処置等の医療行為(特定行為)ができます。

持って、あきらめないでほしい。それだけです。あきらめなければ回り道であっても必ず辿り着く、ルールが自分の前にできると思っています。

長野市消防局中央消防署 傳田 雅也 係長からひとこと

長野市消防局としての目標の一つに『助けを待つ人に対する『強く優しい消防』を目指す』があります。この目標実現に向けて、女性の力が必要です。

男性の職場というイメージが強いと思いますが、設備や制度等職場環境の整備により、女性の職域拡大を進めています。

女性消防士の活躍を広く知ってもらい、後に続く人たちへメッセージを発信していきたいと考えています。



傳田係長と。上司や先輩の、常に先を見越した行動や指導から、学ぶことばかりです。

長野市男女共同参画センター

〒380-0814 長野市大字鶴賀西鶴賀町1481-1

☎026-237-8303

Eメール / danjo-c@city.nagano.lg.jp

長野市ホームページ / <https://www.city.nagano.nagano.jp/>



お問い合わせ

男女共同参画情報紙「With You」の紙面づくりにご協力いただける編集委員を募集しています。詳しくは、広報ながの3月号(3月1日発行)をご覧ください。長野市男女共同参画センターまでお問い合わせください。

現在、市消防局の消防吏員は478名、うち女性は12名で2.5%。消防局では、2026年までに女性の割合を5.0%にすることを目標としています。

